

雪印種苗おすすめ野菜品種紹介

はじめに

弊社は1952年より野菜種子の販売を開始し、より生産性が高く、特産となるような高付加価値の品種を目指して開発を続けてきました。本稿では、最近販売を開始した品種や、これからの季節の栽培におすすめの品種をご紹介します。

1. 新品種 ブロッコリー ドームツリー

弊社では、ダイコン・キャベツ・コマツナといったアブラナ科作物を開発しておりますが、この度、ブロッコリーの販売を開始いたしました。

近年の健康志向や、生産者の軽量作物への転換から、ブロッコリーの需要が高まり、作付面積は増加傾向にあります。一方で、最近の異常気象により、様々な産地で病害が蔓延し、問題になっています。弊社ではその状況に対して、花蕾腐敗しにくく、耐病性に優れる「ドームツリー(写真1)」を開発しました。

関東以西の一般地から暖地における夏播き秋冬収穫作型での栽培に適しており、播種後120日前後で収穫できる中生品種です(表1)。早生品種が、低温により花蕾の形状が崩れ始める時期に、ハイドームで濃緑な花蕾を形成します。耐寒性があるため、低温期でも、花蕾色が淡くなる白斑症状が発生しにくく、色抜けが目立ちません。

「ドームツリー」の名前の通り、“幹”にあたる茎の部分はしっかりと太く空洞ができにくく、“樹冠”にあたる花蕾部分は濃緑色でなめらかなドーム状となります(写真2)。花粒は細かく揃って硬く締まり、変形が遅いことから在圃性があります。注意点としましては、本品種はアントシアンの発生は少ない傾向にありますが、肥料切れによりアントシアンが通常より濃く出ることがあります。追肥の時期や施肥量にご注意ください。

低温期や天候不順が続くときでも、比較的良好な歩留まりが期待できる「ドームツリー」をご紹介します。



写真1 ドームツリー

表1 ドームツリー 栽培作型

栽培作型	●○: 播種期 ▲: 定植期 ■: 収穫期								
地域	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般地		●○	▲	■					
暖地		●○	▲	■					



写真2 花蕾は円形で空洞ができにくい

たしました。ぜひ一度お試しください。

2. ダイコン

日本への伝来時期は諸説ありますが、ダイコンは古事記にも登場するほど、日本で昔から栽培されて

いる馴染みの深い野菜です。食べ方も多岐に渡り、おでん、みぞれ鍋など冬のレシピも多いですが、大根おろし、サラダ、ピクルスなど夏にさっぱりと食べられるメニューも豊富ですので、これからの季節にもたくさんお召し上がりください。さて、ダイコンの旬といえば、秋冬となりますが、一年中店頭にも並んでおり、様々な地域・作型で栽培されています。今回は、弊社のラインナップの中から、夏から秋、冬にかけての播種におすすめの3品種をご紹介します。

「早生涼太（わせりょうた）（写真3）」は発売から3年目を迎える食感の良い青首ダイコンです。寒高冷地の7～8月播き10月収穫、関東以西での9月播き11～1月収穫に適しており（表2）、低温期に向かう作型でも根長が出やすいのが特長です。太りが早く、根形は尻づまりが早い総太でよく揃います。生育が早いので、適期収穫を心がけてください。

「春宴（はるうたげ）（写真4）」・「春桜舞（はるおうぶ）（写真5）」はともに関東以西において2月後半以降からの青果出荷が可能な極晩抽性品種となります。「春桜舞」は11～12月播種で厳寒期に生育する作型（表4）でも空洞症・裂根・ス入りなど低温期に生じやすい障害が少ない品種です。太りすぎによる収穫遅れを気にせず、ゆっくり収穫がしたい方におすすめです。「春桜舞」の前後の播種時期にお使いいただけるのが「春宴」で、10月・1月・2



写真4 春宴

表3 春宴 栽培作型

栽培作型		●○：播種期 ■：収穫期											
地域	作型	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
北海道 道南	トンネル				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
	べたがけマルチ～マルチ				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
北海道 道央	トンネル				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
	べたがけマルチ～マルチ				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
北海道 道東道北	べたがけ マルチ				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
東 北 高冷地	べたがけ マルチ				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
一般地 暖地 (沿岸部)	トンネルべたがけマルチ～ トンネルマルチ	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
	べたがけマルチ				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
	露地				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
暖地	べたがけマルチ				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	
	マルチ				●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○



写真3 早生涼太

表2 早生涼太 栽培作型

栽培作型		●○：播種期 ■：収穫期									
地域	作型	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
北海道 東 北 高冷地	露地マルチ		●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
一般地 暖地	露地マルチ			●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○



写真5 春桜舞

表4 春桜舞 栽培作型

栽培作型		●○：播種期 ■：収穫期							
地域	作型	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
一般地	トンネルマルチ～ トンネルべたがけマルチ		●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
	トンネルマルチ			●○	●○	●○	●○	●○	●○
暖地	マルチ～べたがけマルチ	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○
	露地密植	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○

月播種が基本となります(表3)。根の太りが早い品種で、低温条件下でも根の伸張性や肥大性に優れるため、早太りでの早期出荷が可能となります。また、冬播きでは青首が薄めとなるため、青果加工兼用出荷に向きます。ただし、11~12月播種の厳寒期の栽培では根が短くなることがありますので、ご注意ください。

なお、「春宴」は北海道・東北・高冷地において、春播きでもお使いいただけます。

3. コマツナ

コマツナは長年にわたり、作付面積が増加傾向にある品目の一つです。弊社では、春から秋にかけての播種期にはじっくり生育し収穫期の幅が広い「のりちゃん」、長くご支持をいただいている「浜ちゃん」、秋以降の播種期には晩抽性・低温伸長性に優れる「あっちゃん」をご提案しております。

その中で、今回は弊社一押し「のりちゃん(写真6)」をご紹介します。濃緑色で肉厚の葉が揃い、立性で折れにくい、品質が良く、作業性・収量性に優れた品種です。早晩生は、播種後30日前後での収穫の中生になります。徒長しやすい高温期の栽培においても、特に収穫適期前後の生育がゆるやかなので、収穫適期の幅が広く、在圃性に優れます。コマツナの栽培で問題となる白さび病・べと病の発生が少なく安心して栽培していただけます。

他2品種との使い分けについては、「コマツナの使い分けポイント(表5・6)」をご参照ください。



写真6 のりちゃん

地域	作型	播種期	品 種	備 考
北海道 東北 高冷地	露地 ハウス (雨よけ)	5~8月	浜ちゃん	高温期でも徒長しにくく、収穫期の幅が広い
			のりちゃん	浜ちゃんよりじっくり生育し、収穫期の幅がより広い
	ハウス	2~4月 9~10月	あっちゃん	晩抽性、低温伸長性に優れる
一般地 暖地	露地 トンネル	4~9月	浜ちゃん	高温期でも徒長しにくい
			のりちゃん	浜ちゃんよりじっくり生育し、収穫期の幅がより広い
	ハウス	12~2月	あっちゃん	晩抽性、低温伸長性に優れる、厳寒期に向く、べと病に強い
		3~ 10月上旬 12月中旬 ~1月	浜ちゃん	高温期でも徒長しにくく、収穫期の幅が広い
		のりちゃん	浜ちゃんよりじっくり生育し、収穫期の幅がより広い	
			あっちゃん	晩抽性、低温伸長性に優れる、厳寒期に向く、べと病に強い

特性	品 種	浜ちゃん	のりちゃん	あっちゃん
低温伸長性		—	—	◎
耐暑性		◎	○	—
晩抽性		□	□	◎
耐べと病		◎	◎	◎
耐白さび病		○	○	○
荷姿(きれい)		◎	◎	◎
葉色(濃緑)		◎	◎	○
収量性		◎	◎	○
細根量(少)		○	○	◎
作業性(折れにくい)		○	◎	◎

さいごに

弊社おすすめの5品種をご紹介します。今後もお客様のニーズをくみ取り、鋭意開発に努めて参りますので、気になる品種がありましたらお試しください。

本稿でご紹介した品種以外にも、様々な商品をお取り扱いしております。他品種および、本稿紹介品種の詳しい作型については、「牧草と園芸別冊野菜特集号」をご参照ください。